

宮城県高等看護学校の閉校について

本校は、令和6年3月で閉校いたします。閉校の概要は次のとおりです。

閉校の日まで、これまでと変わらず、学生に寄り添いながら、教職員一同全力で教育活動を実践してまいります。

【背景】

- 少子化の進行による学生数の減少に加え、看護師国家試験受験資格を得るための進学ルートは看護系大学や3年課程の看護師養成所が主流になってきており、宮城県高等看護学校の入学者数は、定員（1学年40人）を下回る状況が続いています。
- 毎年、宮城県高等看護学校入学者の約半数を占める仙台市医師会看護専門学校准看護学科の令和3年度末での閉科が決定されるなど、学校運営に多大な影響を与えることとなるため、県として同校のあり方について検討することにしました。

【閉校の決定】

- 県では、有識者等で組織する「宮城県看護職員確保等検討会」の意見等も踏まえ、令和4年度の入学生を最後に、令和6年3月の閉校を決定しました。
- 在校生の在学期間については、令和6年3月31日又は本校に入学した日の翌日から起算して4年を経過する日のいずれか早い日までの期間となります。